河川用根入れブロック兼用基礎ブロック

ｅ　ベ　ー　ス

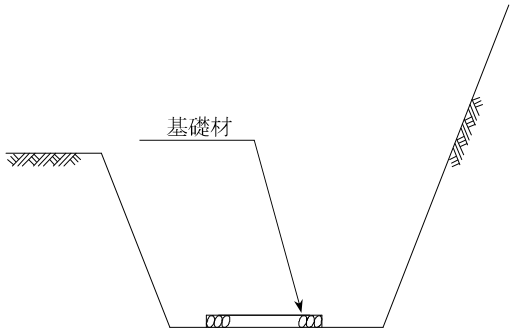
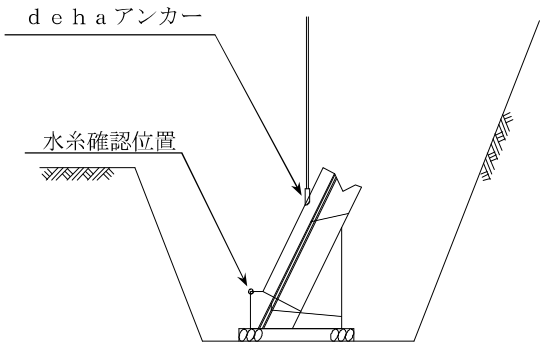
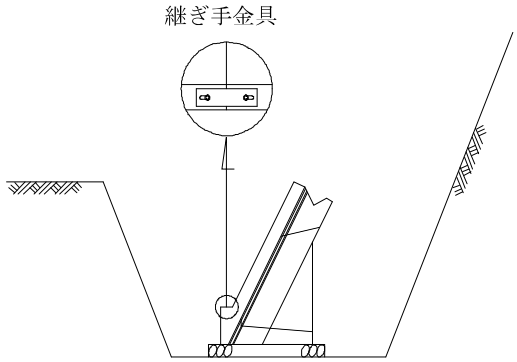
施工要領書

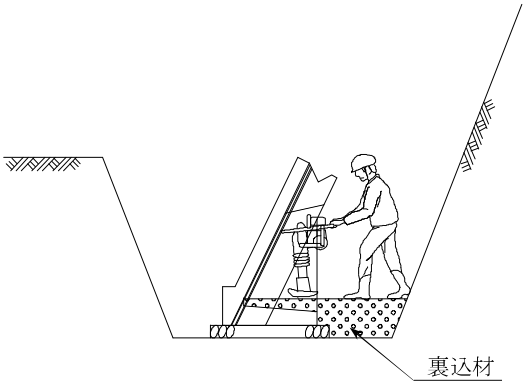
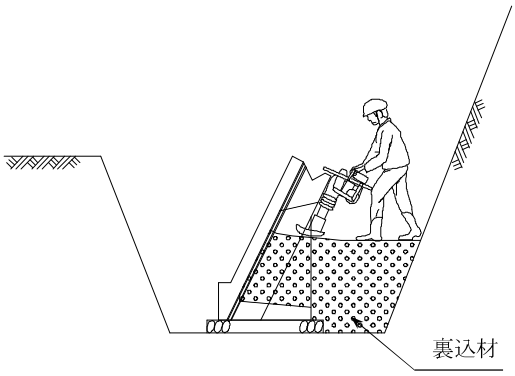
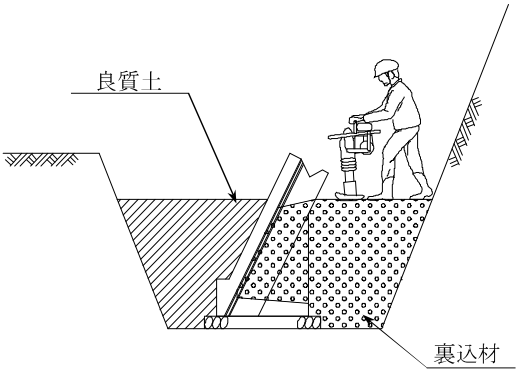
旧NETIS　SK-060001-VE

株式会社 総 合 開 発

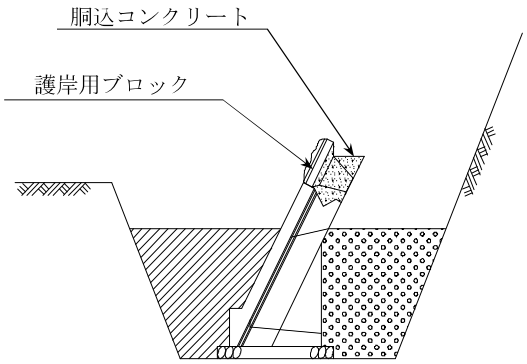
2017．1　改訂

施工手順

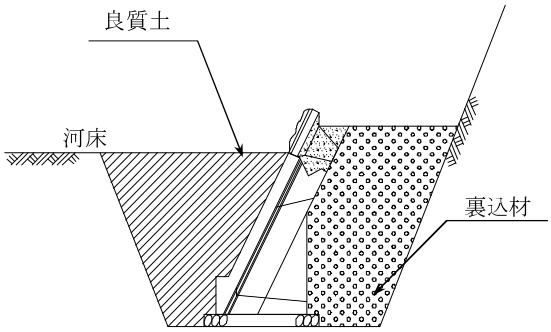
１． 設計図書に基づき丁張を設置し、床堀を行ない、基礎材（クラッシャラン）または均しコンクリートを施工します。	
２． 吊り上げ金具（ｄｅｈａアンカー）２点吊を用い、ｅベースをクレーンで吊り上げ、丁張と水糸により基礎Ｏ点合わせ、法線・計画高・水平を確認しながら、基礎材の上にｅベースを設置します。 隣接のｅベースを破損しないよう、また必要以上の隙間が生じないように注意して設置を行ない、吊り上げ金具を取り外します。	
３． 延長方向ブロック間は、継手金具をボルトで固定します。 ブロック間に隙間が生じた場合ブロック側面のスリットに目地材を使用し背面の吸出しを防止します。	

４-1. 　ｅベース設置を終えたら、ブロック背面に裏込め材を投入し、ランマ・タンパ等が製品背面凹部で使用できる高さまで転圧します。	
４-2. 　ブロック背面凹部にランマ・タンパ等の転圧ができる範囲まで転圧します。	
４-3. 　ブロック背面凹部がなくなる高さまで裏込材を投入し、ブロック背面凹部に材料が入るよう転圧を行います。 　尚、前面は良質土で埋め戻し、十分に締め固めます。	

５．
　ｅベース上部に護岸用ブロックを設置し、胴込めコンクリートがある場合は、ｅベース上部の凹部と一体となるよう打設します。



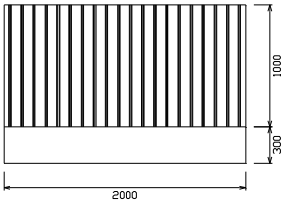
６．
　裏込め材を投入し、前面を計画河床まで埋め戻し、所要のブロックを段数まで設置します。



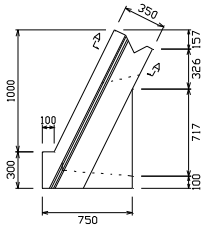
製品図面

eベース　３５０型

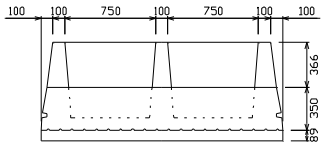
正面図



側面図



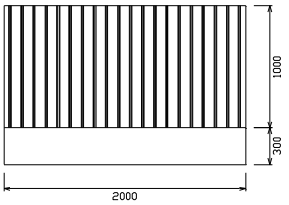
A−A断面図



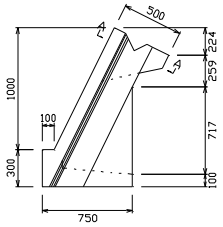
コンクリート体積　㎥	0.778
製品質量　ｋｇ	1789
胴込量　㎥	0.49

eベース　５００型

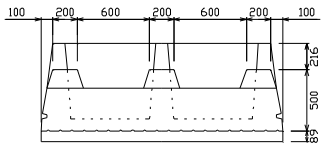
正面図



側面図



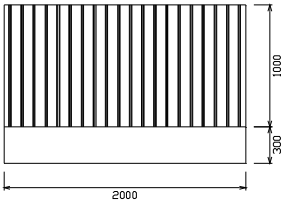
A−A断面図



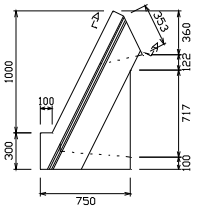
コンクリート体積　㎥	0.798
製品質量　ｋｇ	1835
胴込量　㎥	0.49

eベース　2割型

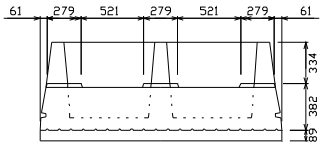
正面図



側面図



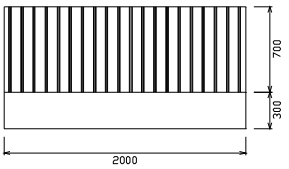
A−A断面図



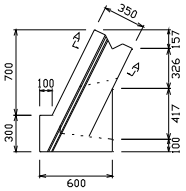
コンクリート体積　㎥	0.752
製品質量　ｋｇ	1729
胴込量　㎥	0.49

eベース　３５０型（H700）

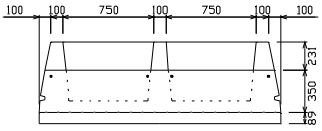
正面図



側面図



A−A断面図



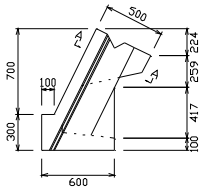
コンクリート体積　㎥	0.610
製品質量　ｋｇ	1400
胴込量　㎥	0.233

eベース　５００型（H700）

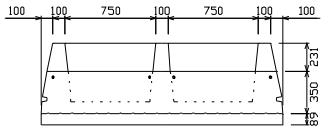
正面図



側面図



A－A断面図



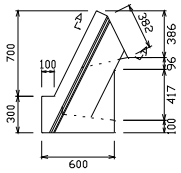
コンクリート体積　㎥	0.634
製品質量　ｋｇ	1458
胴込量　㎥	0.233

eベース　２割型（H700）

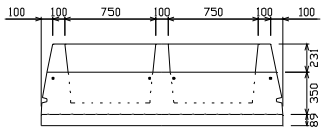
正面図



側面図



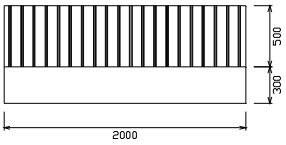
A－A断面図



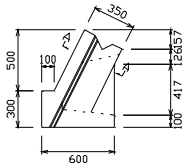
コンクリート体積　㎥	0.578
製品質量　ｋｇ	1329
胴込量　㎥	0.233

eベース　３５０型（H500）

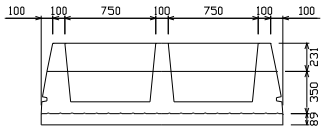
正面図



側面図



A－A断面図



コンクリート体積　㎥	0.468
製品質量　ｋｇ	1076
胴込量　㎥	0.233